

## 第1章 ~YUME式 FX Victry Strategy~



著者：YUME

### 【目次】

#### 第一章：【初級～中級レベル】

出現率の高いトレンド転換のパターン

：主に「天井圏」で起こり易い転換シグナル

：主に「安値圏」で起こり易い転換シグナル

### 【免責事項】

※当レポートの内容は、100%の利益をお約束するものではありません。投資には必ずリスクが生じます。当レポート実践にあたり、いかなる損失が生じても一切の責任を負いません。全て自己責任でお長居します。

## 第1節 基礎編【基礎編】

### 出現率の高いトレンド転換のパターン



はじめに

※このレポートでは **15分足以上**の中期・長期トレンドをメインとしたトレード戦略になります。

1分足や、5分足では信頼度が低くなる事を予めご理解願います。

トレンドというものは、決して永久的に継続するわけでは有りません。  
必ず何処かでトレンドの勢いが弱まっていきます。

#### 【FXでよくありがちな失敗】

トレンドが伸び切った所、あるいは下げ過ぎた価格で、そのまま「順張り」でエントリーしてしまうと、損切りで終わる可能性が高くなります。

このような失敗を極力避ける為には、  
日頃からトレンド転換のパターンを有る程度抑えておく必要があります。

ここでは「**出現率の高い転換パターン**」をご紹介します。

## その1 主に「天井圏」で起こり易い転換シグナル

### 第1項 天井圏で出現しやすい転換シグナル

#### ■ **ダブル・トップ**



「ダブルトップ」とは、上昇トレンドから、下降トレンドに転換する際に起こり易い、トレンド転換の波形のうちの1つです。

このダブルトップは非常に出現率が高いので、今までに聞いた事が有る人もいる事でしょう。

出現頻度としては非常に高く、大体60～70%位の確率で出現します。

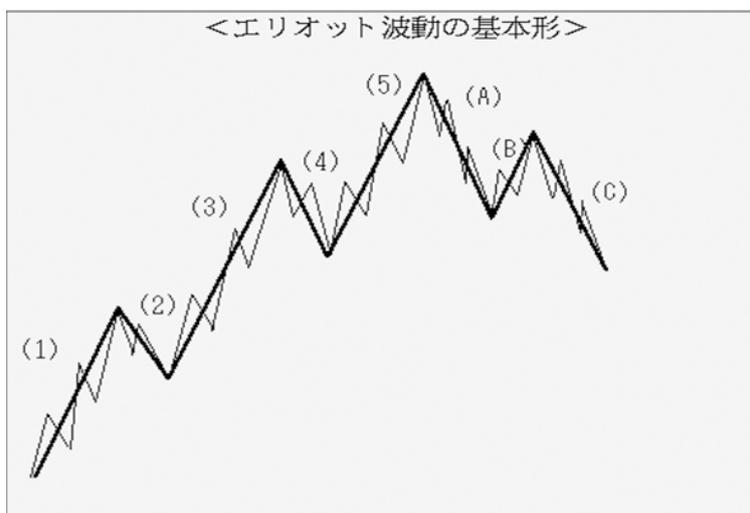
ご存じ無い方は是非覚えておいて下さい。

この「ダブルトップ」は、主に「天井圏」で最も出現率が高く、高値圏で有る程信頼度も高くなります。

また、ダブルトップは「下落転換シグナル」のシグナルでもあり、この形が現れたら、「ロングエントリー（買い）」は見送るのが無難です。

※仮に「ロングエントリー」を入れるのであれば、  
「山」の「高値」を抜けたのを確認してからの方が安全と言えます。

### ■エリオット波動



「エリオット波動」とは、先ほどの「ダブルトップ」をやや複雑な形に変化したもの。

この「エリオット波動」も、上昇⇒下降トレンドに転換の際に出現しやすい形です。

「エリオット波動」は、およそ8つの波で形成されています

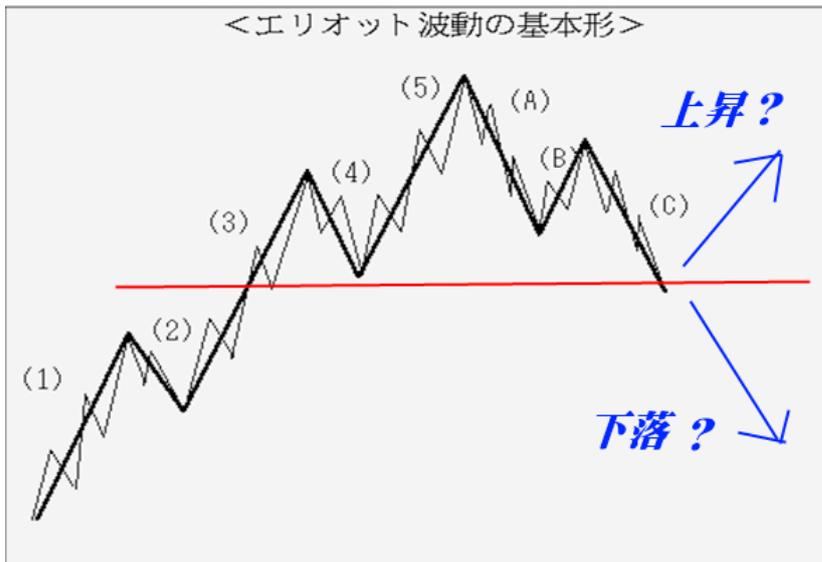
- : 上昇波・・・1波～5波までを1つの「上昇継続」と捉える
- : 下落波・・・調整A波～c波

この「エリオット波動」は、相場の状況次第では、「上昇」「下落」両方の可能性を秘めています

調整A波～c波の下落のボラティリティーが高い場合は、  
そのまま一気に下抜けする確率が高くなりますが、

「C波」付近で再度、「押し戻される」る可能性も秘めています

※次のページで詳しく解説しております▼



従って、「売り」を仕掛けるなら「5波」の高値か、「A波」を下回った付近が安全と言えます。  
(※この場合の損切りは5波高値が目安)

A波～c波終了後、4波～2波で反発せずに、そのまま下抜けするようであれば下降トレンドが継続すると判断しても良いと思います。

※経験上、エリオット波動の出現した「位置」が、天井圏である程、下落トレンドに突入しやすい傾向に有ります。

相場の前後の様子を見ながら判断していきましょう。

「エリオット波動」は、ダブルトップに比べ、波動も多く初心者の方には判断がやや困難かも知れませんが、

お手持ちの「サインツール」などを上手く活用する事で、  
売買を仕掛けるタイミングをスムーズに判断出来る場合もあります。

そうしたシグナルツールなども活用する事も  
1つのトレード戦略です。

私が普段使用しているツールは、逆張りなので、  
「エリオット波動」も良く捉えてくれます▼



参考 URL

<http://fxscalbinary.info-mater.com/ggqt>

こうしたサインツールが無くても、トレード経験を重ねていくうちに  
「エリオット波動」のような複雑な波形であっても、

有る程度トレンドの方向性を掴んでいく事が可能です。  
参考になればと思います。

ここまでは「上昇」⇒「下落」に転換するパターンをご紹介しました。

※次のページでは、この反対のパターンである  
「下落」⇒「上昇」に転換する際に出現率の高いパターンをご紹介します。

是非今後のトレードの参考になれば幸いです

## 第2項 : 主に「安値圏」で起こり易い転換シグナル

### ■ ダブルボトム



「ダブルボトム」とは、「ダブルトップ」を逆さまにしたバージョンです。

先ほどご紹介した、「ダブルトップ」の画像を並べて見ると分かりやすいですね



ダブルボトムは、「**安値圏**」に出現率が高い転換のシグナルです。  
こちらにも「ダブルトップ」と同じくらいの頻度で相場に出現します。

主に、下降⇒上昇へのサインになります。

※「ダブルトップ」とセットで覚えておきましょう！

## 【ダブルボトムの「仕掛け」のコツ】



ダブルボトムは、安値圏で出現するので、「Wの形」となればその後上昇トレンドに転換し易くなります。

エントリーのタイミングとしては、上記のパターンが安全にエントリー出来る確率が高くなります。

具体的には、「谷」を上を少し抜けた辺りです。

「ダマシ」を避けるには、「ローソク足1本」だけで判断しない事です。

「買いの圧力」が強まった事を確認しながらエントリーを仕掛ける事により、安全なエントリーに繋がり易くなります。

**CHECK** 「ローソク足1本」だけのブレイクは、ダマシも多い、ので必ず、ブレイクした足の高値を抜けた事を確認する事。

相場の心理を掴む事が大切です。

## 第2章 ◆相場に潜む「トレンド継続サインを見破るコツ」とは？



引用：滝沢慎吾のワインディングロード

何度かトレードを繰り返すうちに、こんな経験は有りませんか？

「ポジション決済したら、その後もトレンドが継続、」

正直、この様な経験は、投資お経験している人であれば誰もが経験するはずです。

普通に「**もったいない。。。**」とってしまいますよね？

※この様な失敗を極力抑えて行くためには、  
トレンドの**終わり**を見極める事で、避ける事が可能です。

また、トレンドは、初動～中間地点位までの勢いが最も強く、  
トレンドの終点に突入する頃には、  
徐々にトレンドの勢いが弱くなっていきます。

よく、初心者の方にありがちな失敗例として、  
トレンドの「**終わり**」でトレンドを追い続けてしまう事です。

では、「**トレンド継続のサイン**」について  
ご紹介したいと思います♪

### 【トレンド継続のサイン：下落トレンド ユーロドル30分足】



(※上昇トレンドの場合はこの反対になります。  
正、上記のパターンはあくまでも一例になります)

#### 【ポイント】

- ：サポートラインを抜け、ブレイク
- ：高値が更新されていない事

この他、「上がった」と思ったら直ぐに下げてきたり、  
トレンドが継続する時の兆候は、様々有ります。

こうした「トレンドの継続」の見極めなども、  
裁量判断で難しい場合などは  
無理せずに、『シグナルツール』などを活用すると良いと思います。

トレンドの「**初動**」、「**継続**」、「**終点**」この3つの特徴を掴んでいけば  
FXが本当に楽しくなりますよ☆

以上、簡単ではありますが、「よく起こりやすいトレンド転換のパターン」をご紹介しました。

ここで紹介したトレンド転換のパターンは、非常に出現頻度が高いものです。  
是非参考になれば幸いです☆



YUME

【著作権に関して】

当レポートを無断でコピー・複製、その他法律に触れる行為を一切禁止します。  
発覚した場合は、法的な処置を検討させて頂く場合も有りますので、くれぐれ  
もご注意願います

YUME

=====

◆おすすめのトレードソフト

<http://fxvictry.com/ul/160254.html>

◆おすすめのロジック

<http://yumebakuro.biz/j/280225.html>

運営ブログ

<http://fxvictry.com/>

◆サポートに関して

※無料配布という性質上、特にサポートは行っておりません。

予めご了承ください

◆お問い合わせ

<http://fxvictry.com/archives/114>